



生活支援コーディネーターだより

きずな

生活支援コーディネーターは生活上の「困った」や「社会貢献したい」方の相談に応じています。住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、お手伝いをする仕事です。

お問い合わせは、
高槻市社会福祉協議会まで

TEL：072-668-6680
FAX：072-661-4901



夏号のテーマは・・・

みなさんに知ってもらいたい！地域で頑張っている人たち

生活の中で少し時間が出来ると、ボランティアや自治会の活動、趣味の時間や特技を生かした地域活動に新たに「挑戦してみたい」と思う反面、「自分にも出来るのだろうか」と感じる方もいるのではないのでしょうか。今回のきずなでは地域で頑張っている方に活動内容や活動で感じたこと等、生活支援コーディネーターから聞いてみました。既に活動をされている方、これから何か始めてみようと思う方にとって参考になるのではないのでしょうか。



1 子ども食堂でのお手伝いをきっかけに感じたつながり



※写真は新型コロナウイルス感染症が流行する以前の活動風景です。現在の活動状況は拠点によって異なりますが、参加されている子ども食堂は休止中。

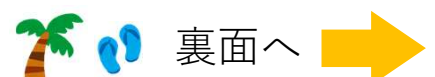
「テレビのニュースで不安定な状況に置かれている子どもたちがいることを知った」という武田さん。ご自身のお子様はすでに自立され、お仕事も退職されて時間に余裕が出来た頃だそうです。ニュースから「何か出来れば」と思い、社協主催のボランティア入門講座に参加した際に相談をしたことがきっかけとなり、現在地域の子ども食堂でお手伝いをされています。

活動を通じて感じていることについて、「日頃から地域とのつながりが必要だと感じている」とのことでした。つながりが出来ると、何かあった時に助け合える関係性になると思うとお話されました。

具体的なエピソードとして、「子ども食堂に参加している子どもが近所で出会った時に挨拶をしてくれたり、登下校中にトイレを借りたいと来たり…。転倒してしまった子どもに絆創膏をあげたら、後からお礼を言いに来てくれて嬉しくなりました。子どもだけでなく、近所に住む方々とのつながりが出来て、良かったなと思います」と教えて下さりました。

これから地域活動を始めようと思う方へのアドバイスをお伺いすると、「肩に力を入れず無理は決してしない」とのこと。特別なことだと思わず活動をするように意識しているようです。

地域活動を続けるためのコツは、無理をせず自分のペースで参加することだと武田さんのお話から改めて感じます。



裏面へ

2 参加することで見えた新たな発見



※生活支援サポーターとは…

高齢者のちょっとした困りごとのお手伝いをするボランティアのことで、社会福祉協議会が事務局となっています。



6月某日、不要家具の運び出しのお手伝いをした生活支援サポーターの北野さん・羽田さん。二人で協力しながら家具の運び出しをされ、活動後は依頼者との会話を楽しまれていました。

サポーター活動について、「まだ今回で2回目の活動。これから実績をつみたい」という北野さんと「自分の好きなことが出来て楽しい」というベテランサポーターの羽田さん。生活支援サポーターに登録されているだけでなく、それぞれに以下のような地域活動をされています。

ご自身が住むマンションの自治会の役員をしている北野さん

「時間が空いていたから」という理由で役員を始めた北野さんですが、「住みやすい環境を作りたい」という思いから、自治会活動に積極的に取り組んでいます。様々な方が住むマンションで意見をまとめることに難しさを感じることもあるそうですが、世間話や雑談から知り得た「**新たな発見**」が活動の原動力となっているようです。今後も関わりを大切にしながら活動を続けていきたいとのことでした。また生活支援サポーターについてはサポーター同士の交流会の場で学びを得ることが多いようで、「**興味を持って色々な人の話を聞いている**」とのことでした。



たかつき環境市民会議に参加している羽田さん

公園の樹木への名札付け、子どもたちに木の实を使った工作を教える等といった活動を行っているそうです。元々地域のために活動をするに対して「**恥ずかしい**」という気持ちがあったそうですが、「**勇気を出して参加をしてみたことで、仲間もできたし、引っ込み思案な性格が積極的になった**」とお話されました。環境に興味があったことで始めた今の活動ですが、活動を通して「**高槻市の歴史を知れて、関心を持つことができて良かった**」とのこと。もっと市内を見て回りたいと思い、散策をされることが増えたようです。



関わることで改めて知るその人の人柄や今まで気付かなかった地域の魅力等、活動を通して新たな発見があるようです。地域活動は自分の興味の幅が広がり、意欲的になるようです。新たな発見から生まれた意欲が、活動を継続できる一つの理由なのかもしれませんね。

生活支援コーディネーターとして、今回お話を伺った3人それぞれの思いから、意欲的に活動に励んでいる方がいることを感じることができました。活動者の声を「**もっと生で聞きたい**」という方！地域活動者と交流出来る機会を作ることになりましたので、是非ご参加下さい。

ふたばサロン

日時：10月30日（金） 13:30～16:00

場所：高槻市地域福祉会館 3階研修室（高槻市社会福祉協議会）

事前予約：必要（10月1日より電話予約を受け付けます）

※詳細は決まり次第ホームページや広報に掲載する予定です

新型コロナウイルス感染症の予防対策を取った上で実施します
（マスク着用、検温実施、室内換気等）

